

民主党 東京都議会議員

(足立区選出)

大西 さとる

2016. 1. 1発行

Vol.105

都議会レポート

発行 都議会民主党政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

今年もよろしくお願ひ申しあげます。

今年1年が皆様にとって素晴らしい年となりますように！

昨年のご支援に感謝申しあげます。

昨年は5月に足立区議会議員選挙が行われました。民主党からは4人の候補者を擁立し、全員が当選を果たすことが出来ました。

今年は参議院選挙が行われます。私、そして足立区民主党は地域の皆様に傾聴し、しっかりと皆様の代弁者として活動して参る所存です。

今後とも宜しくご指導、ご支援お願ひ申しあげます。



次の世代のために

◆◆「東京都教育施策大綱」を新たに策定しました。◆◆

「大綱」とは、教育の目標や施策の根本方針として、総合教育会議における教育委員会との協議を経て、知事が策定するものです。

「東京都教育施策大綱」では、東京都長期ビジョンで掲げる10年後の東京で活躍する子供たち、さらにはその先の2040年代を支える子供たちを着実に育成するため、29年度までの3年間で取り組むべき教育の根本的な方針を示しています。

重点事項と主な内容

- | | |
|--|--|
| <p>1 個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基礎・基本の確実な習得 ● 理数教育の推進 <p>2 社会的自立を促す教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道徳・キャリア・防災教育の推進 <p>3 世界で活躍できる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語教育の充実および国際感覚の醸成 ● 日本人としての自覚と誇りの涵養(かんよう) <p>4 オリンピック・パラリンピック教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人生の糧となる掛け替えのないレガシー形成 | <p>5 不登校・中途退学対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会全体での支援と再チャレンジの教育環境の充実 <p>6 子供たちの健全な心を育む取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いじめ、暴力行為、自殺等の防止対策 ● SNS等の適正な使い方の啓発 <p>7 特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある子供たちの教育環境の充実 |
|--|--|

◆◆都の来年度予算案発表◆◆

東京都の平成28年度予算編成作業の最終段階となる知事査定が4日に始まり、一般会計の予算規模が4年連続増の7兆100億円程度になる見通しとなりました。23年ぶりの7兆円台となります。

都によると、税収は景気回復に伴う地方法人2税(法人事業税、法人住民税)の増加によって、前年度当初予算より約1900億円増の約5兆2100億円となる見込みで、5年連続の増加となります。

新規事業では、都内タクシーの5分の1にあたる1万台を、車イスのまま乗車することができ、環境性能が高いハイブリッド車や電気自動車にするため、事業者向けの補助制度に61億円を計上する方針です。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「障害者スポーツ振興基金(仮称)」を新設し、普及啓発のほか、施設整備や競技活動の支援を行う予定です。

《岡田克也民主党代表の年頭あいさつ》

新年おめでとうございます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

今年は重要な年です。まず生活、そして経済です。安倍総理は経済を大きくすることが自己目的化しています。私は、生産性を高め、経済成長することは大事である、と基本的にそう考えていますが、同時にその成果をいかに公平に分配するかということをもそれ以上に大事と考えています。日本の社会をみたとときに、例えば正社員にならなくても非正規で働かなければいけない、給与も増えない、そういう人達がこの20年で非常に増えてしまいました。あるいは、正社員で働いている人も長時間労働に苦しんでいる人たちがたくさんいます。その中で家庭とそして仕事に両立ということができなくなっています。



貧困の問題も深刻です。今、日本のひとり親家庭、母子家庭、父子家庭の2世帯に1世帯は貧困家庭です。これは世界の先進国の中で全く例のないひどい数字です。誰もがひとり親家庭になるリスクを抱えています。そういった世の中を何とかして変えていく。そして変わることでそのことがまた経済成長にもプラスに良い影響を及ぼす。そういった良い循環の世の中を作っていきたいというように考えています。真面目に働く人たちが安心して生活できる日本にするそれが民主党が目指すところです。

今ひとつは平和の問題です。去年の安全保障法制は、多くの国民が説明不十分という中で安倍総理は強行採決をしてしまいました。安倍総理の目指すのはそこにとどまりません。集団的自衛権の行使は、この前の強行採決で限定的に認められることになりました。しかし、安倍総理が目指しているのは、限定なしに集団的自衛権の行使を認める。つまり、日本は攻撃を受けていなくても海外に出かけていき、例えば米軍と一緒に戦う、そういう国にしたいというのが安倍総理の考えている姿です。

私は、そうではないというふうに思います。70年前敗戦の中で日本国憲法を持ちました。もちろん現実の日本を取り巻く環境は変化していますから、このことは十分に踏まえなければなりません。日米同盟も大事です。しかし、だからといって海外で日本が自由に武力行使できるそういう国にすることが私は正しい選択だとは思いません。この点について今年は、国民一人ひとりが問われる、どちらの道に行くのかそのことを選択する、そういった年になると思います。

そして参議院選挙です。非常に重要な選挙になります。3分の2を与党勢力が取ることになれば憲法改正に必ず進むと思っています。我々は国政選挙過去3回続けて敗れています。しっかり歯止めをかける。そういった参議院選挙にしなければなりません。そしてその先にあるのはもう一回政権交代にチャレンジする民主党です。

是非皆様のご理解を頂き、今年一年日本の政治にとって、国民の皆様一人ひとりにとって良い年にしたい強い決意で臨みます。どうかよろしくお願い申し上げます。

(岡田代表動画メッセージより)

子どもが大好き!!



◆◆ビッグデータを活用し救急搬送時間を短縮せよ◆◆

年末年始、多くのサイレンの音が聞かれました。救急搬送時間の短縮に向けて、今年度、救急隊5隊分が増強されました。昨年12月の平成27年第4回定例議会において、都議会民主党は、こうした取り組みに加え、新たな手だてを提案しました。特に、年間76万件もある救急出動件数のビッグデータを活用することで、救急患者の発生予測や救急隊の適切な配置などに役立て、より効率的な運用を図ることを求めました。

これに対して、消防総監は「地域における救急事象の発生状況等の情報も踏まえ、救急搬送体制の充実に努めていく」と前向きに答弁しています。

【大西さとのプロフィール】

昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒、早稲田大学大学院修士課程修了。11年間のサラリーマン生活ののち、細川律夫衆議院議員第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、オリンピック招致委員会理事、都議会民主党幹事長代行などを歴任。現在3期目、環境・建設委員会所属。

東京都議会議員 大西さとの事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビ2F
Tel 03-3849-7847 Fax 03-3849-7846
E-mail satoru@onishi-satoru.jp
HP <http://onishi-satoru.jp>

大西さとの 検索